第109号
あらかわ区報Jr.
ジュニア
ArakawaKuhoJunior
平成29年6/19
発行　荒川区●23,000部発行
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 ☎(3802)3111

こんな楽しさ初めて！

ゆいの森あらかわへ行こう！

▲ゆいの森あらかわロゴマーク

3月26日、ゆいの森あらかわが開館しました。
中央図書館・吉村昭記念文学館・ゆいの森子どもひろばが一体となった、誰もが活用できる楽しさいっぱいの施設です。
今号では、そのさまざまな魅力をご紹介します。

問合せ　ゆいの森あらかわ
☎(3891)4349

▲ゆいの森あらかわは、約4100㎡の敷地に建つ地上5階・地下1階の施設。駐車場（12台）や駐輪場（370台）もあります。「ほら、こんなに大きいよ！」と元気にポーズをとる峡田小学校6年生のジュニア記者。左から仁平篤希くん、田中誠也くん、田上実笑さん、岩野夏来さん

はかせ

ゆいの森あらかわの名前の由来を知っておるかな。「人と人、本と人、地域と人が結びつき、楽しみ・学び・安らげる、豊かな森のような施設」となるよう名づけられたんじゃ。またロゴマークは、施設の3つの機能である中央図書館・吉村昭記念文学館・ゆいの森子どもひろばを「樹木」と「本」で表現しておる。本の部分は「ゆいの森」の頭文字「Y」になっておるぞ。

ゆいの森あらかわ 施設案内

◆開館時間　午前9時30分～午後8時30分
◆休館日　毎月第3木曜日、特別整理日、年末年始　他
◆所在地　荒川二丁目50番1号
◆問合せ　☎(3891)4349

あらかわ区報 Jr. は荒川区ホームページでご覧になれます。
https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html

次は7月に発行する予定です

尾久西小学校

警視庁&マクドナルド みんなの安全を守る防犯教室を開催!

あっくん

5月9日、尾久西小学校で警視庁と日本マクドナルドによる防犯教室が開かれました。

自分の身を守るための合言葉「いかのおすし」を覚えたり、マクドナルドのキャラクター、ドナルド・マクドナルドと、「こども110番の家」がどこにあるかを歩きながら探しました。また、不審者に遭遇した場面を想定し、「こども110番」になっているマクドナルドの店に駆け込み、助けを求める訓練も実施。本番さながら、みんな真剣な表情で取り組んでいました。

▲「いかのおすし」を全員で声を出して覚えました

◀街中を歩きながら、「こども110番の家」ステッカーを確認

▶店に駆け込んだら何を伝えるかを教えてもらいました

懐かしいあの日あの時 想い出写真館

あらみぃ あら坊

No.39 ゆいの森あらかわができる前

10年以上の準備期間を経て、ゆいの森あらかわは誕生しました。建物ができる前はどんな所だったのでしょう？

下の写真は、荒川自然公園から撮影したもの。工事が始まる前で、もともとあった駐車場などが見えます。もっと前には、都営アパートやメッキ工場などがありました。

▲平成26年10月ごろの写真

▲平成28年7月ごろの写真

発見いっぱい！ ゆいの森あらかわ探検

あらゆる世代が楽しく活用できる施設として、3月にオープンしたゆいの森あらかわ。広々とした各フロアには、心地よく学び過ごせるスペースや面白いコーナーがいっぱい。その魅力をジュニア記者がレポートしました。

▲ゆいの森あらかわの紹介ビデオを鑑賞。「色々な楽しみ方ができるんだね！」

子ども も大人も一緒に笑顔で過ごせる場所

ゆいの森あらかわの職員・榊裕子さんの案内で、1階から5階までを探検。建物の中央に吹き抜けがあり、壁や仕切りが少ないので、とても開放的。飲食できる場所があり、1階にカフェも併設されています。

「ゆいの森ホール」と国内でも有数の規模を誇る「えほん館」がある1階には、小さな子どもたちが遊べる「遊びラウンジ」もあります。「赤ちゃんから大人まで大満足だね」と、田中くんもニッコリ。

読んで遊んで学べる楽しい体験の宝庫

2階「児童書コーナー」と「ティーンズコーナー」にジュニア記者は興味津々。名作から人気作品まで、面白そうな本が揃っています。

科学の実験等を行う「ワークショップルーム」、体験キットを使って楽しく学べる「学びラウンジ」も同じフロアにあります。実験や体験で疑問に思ったこと、もっと知りたくなったことを、すぐに本で調べられるようになっています。

閲覧席では、仲良く話している小・中学生の姿を見かけました。一般的な図書館と違い、ゆいの森あらかわでは自由に会話できるスペースもあります。「友だちと一緒に来たくなるね」と仁平くん。

使い方は自分次第 災害対策も万全

一般書と「美術芸術コーナー」「現代俳句センター」がある3階、仕事や専門的な研究に役立つ4階を見学して、いよいよ最上階へ。

5階には、自由に使える「コミュニティラウンジ」、集中できる「学習室」、屋上の庭「ゆいの森ガーデンてらす」があります。岩野さんは「こんなにすごい施設なんだ！」とビックリ。

また、災害時に緊急避難所として活用できるよう、建物は免震構造。備蓄倉庫と発電機も設置しています。「区民の安全にも役立つんだね」と田上さん。

あらゆる世代の誰もが、それぞれの目的に応じて楽しめる新しい複合施設・ゆいの森あらかわ。ジュニア記者が取材した日も、たくさんの子どもが友だちと一緒に楽しそうに勉強をしていました。広々とした吹き抜けが特徴で、快適に学べる楽しい図書館です。皆さんもぜひ、利用してください。

▲「ゆいの森ホール」は、上映会やイベント等に活用できるスペース。前方の扉を閉めて大きなスクリーンに映像を映すことができます。壁一面に絵本が飾られていて、まるで絵を鑑賞しているかのようです。普段は閲覧席として利用されています

▲エントランスホールでは、テーマを決めて本を展示しています

ゆいの森ホールでは学校の発表会や星空学習もできるんだって

▶▲ 3万冊にも及ぶ蔵書を誇り、子どもも大人も楽しめる「えほん館」。ノンフィクション作家・柳田邦男さんが推薦する絵本コーナーもあります

本がたくさん！ワクワクするね

すみちゃん

本の種類と数が多くてビックリ！

▲一般書が並ぶ3階には、小説や文庫、コミック、雑誌などがいっぱい。書棚と閉架書庫を合わせると、ゆいの森あらかわの蔵書規模は約60万冊！CDやDVDも借りられます

▲「ティーンズコーナー」で本を選んで読書タイム。館内には、約800の座席が用意されています

◀荒川区出身の小説家・吉村昭さんの作品や生涯に触れる「吉村昭記念文学館」は2・3階です。ここでしか見られない貴重な資料が多く、書斎も再現されています

遊びながら学べるコーナーだよ

▲▶ゆいの森子どもひろばの「学びラウンジ」では、「こま回し」や「空気の力」など12種類の楽しい実験キットで学ぶことができます

まちぞう

みんなで挑戦！

▶最上階にあるイングリッシュガーデン風テラス。本を読んだり友だちとおしゃべりしたり、自由に過ごせます

▼静かな「学習室」は全52席。図書館利用カードを使って、端末で座席を予約します

▶5階には備蓄倉庫があります。災害時に帰宅できなくなった人や乳幼児を中心とした避難所として活用できるよう、水や食料、おむつ・粉ミルクなどを蓄えています

いざという時もこれなら安心！

学校訪問

学校自慢

第五峡田小学校
町屋3－17－24

学校の自慢を児童が紹介します

▲五峡えんにち

第五峡田小学校では、「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」を目標にしています。

「かしこい子」

五峡小には、「にこにこルーム」「なるほどルーム」という二つの学校図書館があります。「読書チャンピオンカード」を使って一年間の読書量を記録したり、先生方や図書ボランティアの方の読み聞かせを聞いたりして、たくさんの本に親しんでいます。

「やさしい子」

一年生から六年生までの「なかよし班活動」を行っています。給食会や清掃、遊びをしたり、「五峡えんにち」では、なかよし班で工夫してお店を出して楽しんだりしています。いろいろな学年で過ごすことで、お互いを思いやる気持ちをもつことができます。

「たくましい子」

みんな外遊びが大好きです。特に、「にんじゃやしき」が大人気です。体育朝会では、長縄大会があり、各クラス新記録を目指して、練習に励んでいます。また毎朝、「あいさつ隊」が校門に立って、友だちや先生、地域の人たちに元気にあいさつしています。体も心もたくましい子を目指しています。

◀にんじゃやしき

執筆　6年　上野葉月　家田美季　栗原千佳

部活動

第三中学校
南千住8－10－1

生徒が部活動を紹介します

卓球部

▲練習の様子

私たち荒川区立第三中学校卓球部は、男子23名、女子12名の計35名で活動しています。

私たちは平日水曜日を除いて活動し、休日は土、日曜ともに半日練習しています。

今年度は、一年生がたくさん入ってきてくれたので、私たち二年生は気を引きしめ、集中して練習をすることができています。

私たちは毎日、筋肉トレーニングからフットワーク練習、多球練習、ゲーム練習をしています。三年生の部員がいないのですが、顧問の先生に教わりながら、ここまで努力してきました。

私たちは都大会上位に入るという目標を立てました。しかし、荒川区はレベルが高い地区なので、都大会に進出するのはそう簡単ではありません。ですが、今までやってきたことに自信をもち、日々努力していきたいです。

次なる公式戦に向け、練習していきます。応援、よろしくお願いします。

▲レッツゴー卓球部

執筆　部長　武藤大樹

ゆいの森あらかわ
来館者が10万人を突破しました！

5月12日、ゆいの森あらかわの来館者数が10万人を突破しました。3月26日の開館から約1か月半での達成となり、多くの方に楽しんでいただいています。

当日は、西川区長が節目となる来館者をお迎えし、花束や記念品とともに、10万人目の認定証を贈呈するセレモニーが行われました。また、セレモニー後、来館者に10万人突破の記念特製缶バッチが配られました。

▲西川区長から記念品が贈られました

▼特製缶バッチを来館者一人ひとりに手渡し

南千住図書館・荒川ふるさと文化館　七夕まつり

☆七夕の歴史を知ろう＆七夕飾り作りを体験しよう☆

七夕の歴史や由来についてのパネルを展示します。期間中、七夕飾り作りも行います。

期間　6月30日(金)～7月12日(水)
会場　荒川ふるさと文化館1階エントランス

☆七夕まつり☆

七夕にまつわるお話や、パネルシアターを行います。短冊に願い事を書いて笹に飾ります。

日時　7月5日(水)午後3時30分～4時30分
会場　荒川ふるさと文化館地下1階視聴覚室
対象　小学生以下のお子さん、50人(当日の先着順、未就学児は保護者同伴)

問合せ　南千住図書館☎(3807)9221
荒川ふるさと文化館☎(3807)9234

あらかわ今昔ものがたり
あらかわの歴史と伝説
その109　太田道灌とあらかわ③
道灌さんと木戸孝範さんの庵

あらかわが、あの太田道灌さん所縁の町だということを読者のみんなは知っているよね。何々？　日暮里、南千住に道灌さんに関係する史跡があるって？　そうそう、道灌山や石浜城跡。良く知っているね。じゃあ、道灌さんのお友だちのお家が三河島（今の荒川地区周辺）にあったことを知っているかな？

今から約550年前、三河島に和歌の達人・木戸孝範さんの庵があったと言われているんだ。

和歌友・木戸孝範さん

孝範さんは、下野国（栃木県）の足利辺りを拠点とする武将だ。木戸家は、代々、関東管領に仕えた重臣の家なんだ。孝範さんは、堀越公方足利政知さんにも仕えたんだって。「新古今和歌集」で有名な藤原定家さんをご先祖とする冷泉持為さんの弟子で、沢山の和歌を残したんだよ。武士にとって和歌は身につけなければならない教養の一つだったから、関東の武将に尊敬されていたんだ。和歌が大好きな道灌さんの大切なお友だちだったんだよ。今で言えば〝和歌友〟だね。文明6（1474）年6月、江戸城で行われた歌合等にも道灌さんから招待されたんだよ。

風流な孝範さんの庵

ところで、孝範さんの三河島の庵ってどんなところだったのかな？　ヒントは孝範さんの作品集『源孝範集』にある。庵のことがこの本に登場するんだよ。

「私は武蔵国豊島郡というところ、隅田川の入江に庵を結んで住んでいた。庵の前はアシが茂り、時折、鹿が訪れ鳴くような人里離れた静かな所だ。これをめずらしく思い、鹿の声を聞きたくて都から移住する人もいた」

孝範さんの庵は、隅田川にあった入江に面して建てられていて、江戸城から離れた静かな場所だったようだね。

同じく道灌さんのお友だち、お坊さんの万里集九さんの『梅花無尽蔵』という本にも、孝範さんの庵が紹介されている。隅田川の上流で、人の往来がある道から外れた閑静な所と記されているんだよ。じゃあ、庵の場所はどこかというと、地形の特徴から三河島あたりだと考えられているんだ。「長禄江戸図」という地図に入江の様子が描かれているよ。

孝範さんが「木戸三河守源孝範」を名乗っていたことから、三河守の住所にちなんで三河島の地名が付いたという伝承まであるんだよ（『江戸名所図会』）。

道灌さんは、和歌の達人・孝範さんに会いたくて、何度も三河島の庵を訪問したことだろうね。

次回は、いよいよ有名な「山吹の里」のお話だよ。

「長禄江戸図」(国会図書館デジタルコレクション)

問合せ　荒川ふるさと文化館☎(3807)9234

R70 古紙配合率70%再生紙を使用しています。